

8/3日

[開演] 19:00

[終演予定] 21:00

真夏のバッハX

Back to Bach X

歌とパイプオルガン 祈りの調べ

本公演では「リモートコンソール(移動演奏台)」を使用いたします。

※リモートコンソールとは、遠隔でパイプオルガン本体を操作する演奏台です。

出演

パイプオルガン：徳岡めぐみ
Megumi Tokuoka, Pipe Organソプラノ：隠岐彩夏♥、経塚果林♡
Ayaka Oki, Karin Tsunetsuka, Sopranoメゾ・ソプラノ：谷地畝晶子◇
Shoko Yachiune, Mezzo-sopranoテノール：隠岐速人♠
Hayato Oki, Tenorバス・バリトン：後藤春馬♠
Kazuma Goto, Bass-baritone

曲目

J. S. バッハ：幻想曲ト長調 BWV572

J. S. Bach: Pièce d'Orgue, BWV 572

[8分]

J. S. バッハ：『マタイ受難曲』BWV244 から第47曲アリア「憐れみたまえ、わが神よ」◇

J. S. Bach: Aria 'Erbarme dich, mein Gott', "Matthäus-Passion", BWV 244

[8分]

モーツァルト：『レクイエム』K. 626 から「涙の日」♡◇♠

W. A. Mozart: 'Lacrimosa', "Requiem", K. 626

[4分]

J. S. バッハ：バビロン川のほとりにて BWV653

J. S. Bach: An Wasserflüssen Babylon, BWV 653

[5分]

J. S. バッハ：幻想曲とフーガト短調 BWV542

J. S. Bach: Fantasia et Fuga in g, BWV 542

[12分]

— 休憩[20分] —

モーツァルト：幻想曲ヘ短調 K. 608

W. A. Mozart: Fantasie, K. 608

[11分]

J. S. バッハ：『マニフィカト』BWV243 から

第2曲アリア「わが霊は救い主なる神を喜びたたえん」♥

第10曲アリア(三重唱)「主はその僕イスラエルを」♥◇◇

J. S. Bach: Aria 'Et Exsultavit' / Aria (Terzetto) 'Suscepit Israel', "Magnificat", BWV 243

[5分]

J. S. バッハ：「わが魂は主をあがめ」～マニフィカトによるフーガ BWV733

J. S. Bach: Meine Seele erhebt den Herren Fuga über das Magnificat, BWV 733

[5分]

モーツァルト：『証聖者のための荘厳晩課(ヴェスペレ)』K. 339 から「主をほめたたえよ」♥◇◇♠

W. A. Mozart: 'Laudate Dominum', "Vesperae solemnes de cofessore", K. 339

[5分]

J. S. バッハ：パッサカリア BWV582

J. S. Bach: Passacaglia, BWV 582

[14分]

※演奏時間は目安です。 ※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

皆様にコンサートをお楽しみいただくために、
ご協力をお願いいたします。

開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する電子機器の電源をお切りください。光を強く反射する物は鞆におしまってください。



時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。



ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが正しく装着されていることをご確認ください。



演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。



許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断りいたします(カーテンコール時を除く)。



演奏中に音が出ないように十分ご注意ください(鈴のついたお手荷物・鉛の包みを開ける際の音・プログラムをめくる音など)。



演奏中の会話はお控えください。



演奏が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援をお送りください。



客席内での飲食はご遠慮ください。



館内では咳エチケット・適切な手指消毒を推奨しております。

終演後のカーテンコールの撮影が可能です。

撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。 ※撮影前にフラッシュ設定が「オフ」になっているかご確認ください。 ※目線より高い位置での撮影や、スマートフォン・携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。 ※SNSなどに投稿する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

主催：川崎市、ミュージザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、
J-WAVE 81.3FM、TBSラジオ、一般社団法人オルガニスト協会
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会川崎
Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市Japan Association
of
Organists
JAO

音楽のまちかわさき

文化庁

パイプオルガンの 荘厳で靈感に満ちた豊かな響きにひたる

バッハとモーツァルトの魂が響き合うプログラム

J.S.バッハ（1685～1750）が没したのは1750年、そしてヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト（1756～1791）が生まれたのは1756年。6年の差により、二人が現実世界で出会うことはなかった。しかし、バッハに畏敬の念を抱いていたモーツァルトが、後年になってからそのフーガを研究し、自らの音楽に深みを加えていったことはよく知られている。今年の「真夏のバッハX」では、バッハとモーツァルトがオルガンのために書いた作品を柱に、『マタイ受難曲』や『レクイエム』などの宗教作品の祈りの音楽を織り込んだ。二人の大作曲家の魂が響き合うようなプログラムだ。

その要に置かれたのが、バッハが主にワイマールで宮廷オルガニストをしていた時期に書いた3つのオルガンの大作である。最初の『幻想曲 ト長調』（BWV572）はかなり若い頃の作品ともいわれており、3つの部分のテンポ表記がフランス語で書かれているのが特徴だ。「トレ・ヴィトマン（非常に速く）」で軽やかに始まり、続く「グラヴマン（荘重に）」における輝かしさは、ミュンヘン川崎のパイプオルガンでこそ味わえるものだろう。

ここで『マタイ受難曲』（BWV244）から「憐れみたまえ、わが神よ」が挟まれる。イエスとの関係を問われたペテロが思わず「知らない」と3度言ってしまった後、人間の弱さに対して神の憐れみを求めて祈るアルトの名アリアだ。対するモーツァルトからは、『レクイエム』（K.626）の絶筆となった「涙の日」（ラクリモーサ）。どちらも深い悲しみの中に、人の心に寄り添う慰めがある。

バッハの「大フーガ」とモーツァルト最晩年のオルガン曲

「バビロン川のほとりにて」（BWV653）は、バッハがその最晩年にまとめ上げた『18のコラール』（通称ライブツィヒ・コラール）の中の1曲。紀元前6世紀の新バビロニア王国のネブカドネザル2世の時代、エルサレムの住民の多くが連行された「バビロン捕囚」にまつわるコラールで、旧約聖書の詩篇137篇の詩では彼らが川のほとりでシオンを思い出して涙を流す。

当公演2つ目のバッハのオルガンの大作、『幻想曲とフーガ ト短調』（BWV542）では、幻想曲の冒頭から畳み掛けるような転調や不協和音が鮮烈をきわめる。尽きることのないスケールを持つフーガも、この作品の愛称「大フーガ」にふさわしい。

さて、ここでモーツァルトの『幻想曲 ヘ短調』（K.608）が演奏される。彼が最後の年となる1791年3月にウィーンで自動オルガンのために書いた曲で、アレグロとアンダンテから構成される。その2年ほど前、モーツァルトはベルリンへの旅の途上でライブツィヒを初めて訪れ、バッハゆかりの聖トーマス教会のオルガンも演奏している。この時の「聖地巡礼」があったからこそ生まれた作品かもしれない。

マニフィカトのために書かれた音楽

『マニフィカト』（BWV243）は、バッハがライブツィヒのトーマス・カントルに着任した年のクリスマスの晩課のためにカンタータ形式で書かれた、喜びにあふれた作品。マニフィカトとは「わたしの魂は主をあがめ」で始まるルカ福音書第1章のマ

リアの賛歌をテキストに用いたラテン語の聖歌で、古くから晩課（ヴェスペレ）の礼拝で唱えられてきた。続くオルガンによる「わが魂は主をあがめ」（BWV733）のフーガでは、ドイツ語マニフィカトのオリジナルであるグレゴリオ聖歌の旋律が主題に用いられている。

それに対置されるのが、モーツァルトの『証聖者のための荘厳晩（ヴェスペレ）』（K.339）。やはり晩課のためのカトリックの典礼に従って書かれた曲で、ザルツブルク時代の最後を締めくくる教会音楽となった。第5曲「主をほめたたえよ」は、未完に終わったハ短調ミサ曲の名高い「聖霊によりて」を思わせるほど、美しいアリア風の調べが胸を打つ。バッハはルター派プロテスタント、モーツァルトはカトリック教徒だったが、彼らが到達した表現の領域は宗派の違いを超越している。

締めくくりは、このプログラム3つ目のオルガンの大作、バッハの『パッサカリア』（BWV582）。ワイマール時代に書かれたとされる、初期の代表作だ。最初に低音で提示される主題が、20もの変奏曲となって繰り返される。後半は四声のフーガとなってさらなる広がりを見せる。靈感に満ちた音楽の豊かさと垂直にそびえる建築的的巨大さは、西洋音楽が成し遂げたひとつの頂点とさえ言えるかもしれない。



パイプオルガンを弾くバッハ
(版画、作者不明、1725年)

徳岡めぐみからのメッセージ

大聖堂にいるかのような響きをお楽しみください

バッハとモーツァルト——この偉大な二人の音楽家が直接出会うことはありませんでしたが、モーツァルトは音楽愛好家貴族ヴァン・スヴィーテン男爵を介してバッハやヘンデルの音楽に触れ、バッハが極めた対位法芸術に大きく影響を受けました。また、幼少からオルガンに親しみ自身でも演奏したといわれますが、現在オルガニストのレパートリーとなっているのは時計仕掛けの自動オルガンのための数曲のみで、これらは死の数か月前に依頼を受けて作曲されました。そのうちの一曲「幻想曲 ヘ短調」K.608は、バッハの「幻想曲とフーガ ト短調」BWV542と相通ずる陰を含んだドラマティックな音楽で、いずれの作品も複雑な和声や対位法により高度な芸術性を示しています。

また、声楽とオーケストラによる宗教音楽の名曲が多いという点でも二人は共通しています。前半で

はバッハの『マタイ受難曲』やモーツァルトの『レクイエム』から“苦悩”“慈悲の求め”を、後半ではバッハの『マニフィカト』やモーツァルトの「主をほめたたえよ」で“平安”“魂の歓喜”を歌った作品を選びました。今回は声楽アンサンブルとミュンヘン川崎の4段手鍵盤ペダル付きの大オルガンのために編曲をして演奏します。ほか、バッハとオルガンの魅力が最大限に表された傑作「パッサカリア」BWV582も、このプログラムに合わせて音色を選びました。コンサートホールにしながら荘厳な大聖堂にいるかのような気分でお聴きください。



©K.Miura

■出演者プロフィール



パイプオルガン：徳岡めぐみ
Megumi Tokuoka, Pipe Organ

東京藝術大学大学院音楽研究科修了。ドイツ国立ハンブルク音楽大学卒業。オランダのアルクマールでのシュニットガー国際オルガンコンクールで優勝、聴衆者賞受賞。北ドイツ放送(NDR)音楽賞国際オルガンコンクールで2位を受賞。能楽やプロジェクト・マッピングとの共演など、オルガンの新たな可能性を模索している。また『ベツレヘムに生まれし幼子 ハンブルク聖ヤコビ教会 アルプ・シュニットガー・オルガン』ほか、ドイツやベルギーの歴史的オルガンを使用した録音も積極的に行う。現在、東京芸術劇場オルガニスト、豊田市コンサートホールオルガニスト、東京藝術大学非常勤講師、国際基督教大学、片倉キリストの教会オルガニスト。



ソプラノ：隠岐彩夏
Ayaka Oki, Soprano

岩手大学教育学部卒業。東京藝術大学大学院修士、博士後期課程修了。文化庁在外派遣研修員としてニューヨークで研鑽を積む。友愛ドイツ歌曲コンクール第1位。日本音楽コンクール第1位。下野竜也、尾高忠明、E.インバル、J.ノット、A.ヴィット、G.デスピノーサ等著名指揮者やオーケストラと共演し、J.S.バッハ、ヘンデル、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、マーラーなどの作品でソリストを務める。2022年キングレコードより『愛しの夜』をリリース。矢部達哉、横山幸雄両氏と共演したこのアルバムは「レコード芸術」特選盤に選出された。今年青森で開催する「青い海と森の音楽祭」(芸術総監督：沖澤のどか)音楽主幹に就任。



ソプラノ：経塚果林
Karin Tsunozuka, Soprano

石川県出身。国立音楽大学歌曲ソリストコース卒業、同大学院オペラコース修了。二期会オペラ研修所マスタークラス修了。『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ、『ジャンニ・スキッキ』ラウレッタ、『こもり』アデーレ、『魔笛』パミーナ、『スペインの時』コンセプション、『パルシファル』花の乙女、『イドメネオ』イリア、『ラ・ボエーム』ムゼッタ等でオペラ出演。またJ.S.バッハ『マタイ受難曲』、モーツァルト『八短調ミサ』、ベートーヴェン『交響曲第9番』、ヴェルディ『レクイエム』、ラター『マニフィカート』、ハイドン『天地創造』等でソリストを務める。これまでに岩崎由紀子、小泉恵子、曽我榮子、Françoise Polletの各氏に師事。二期会会員。



メゾ・ソプラノ：谷地敬晶子
Shoko Yachiune, Mezzo-soprano

岩手県出身。岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業。東京藝術大学音楽研究科博士後期課程独唱科修了。第16回日仏音楽コンクール第1位。2012年度三菱地所賞受賞。これまでに、J.S.バッハ『クリスマス・オラトリオ』『口短調ミサ』『マタイ受難曲』『ヨハネ受難曲』、ヘンデル『メサイア』、モーツァルト、ヴェルディ、ドヴォルザーク、デュリュフレ『レクイエム』、ベートーヴェン『第九』『ミサ・ソレムニス』、シューベルト『ミサ曲第5番』『ミサ曲第6番』、メンデルスゾーン『聖パウロ』『エリヤ』、ドヴォルザーク『スターバト・マーテル』、マーラー『交響曲第2番』『交響曲第3番』『交響曲第8番』等においてアルトソリストで出演している。岩手大学、盛岡大学短期大学、MCL盛岡医療大学校非常勤講師。



テノール：隠岐速人
Hayato Oki, Tenor

東京藝術大学音楽学部音楽科卒業。ミラノ、ニューヨークにて研鑽を積んだ。これまでに『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『仮面舞踏会』リッカルド、『椿姫』アルフレード、『妖精ヴァルツ』ロベルト、『蝶々夫人』ピンカートン、『イル・トロヴァトーレ』マンリーコなどで出演。コンサートではJ.S.バッハ『クリスマス・オラトリオ』、メンデルスゾーン『聖パウロ』、モーツァルト『レクイエム』『八短調ミサ』、ベートーヴェン『第九』『ミサ・ソレムニス』、シューベルト『スターバト・マーテル』、ブルックナー『テ・デウム』『ミサ曲第1番』等にもソリストとして出演した。オペラユニット“カントキューブ”メンバー。



バス・バリトン：後藤春馬
Kazuma Goto, Bass-baritone

国立音楽大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。ロンドンにて研鑽後、オランダ国立オペラアカデミー修了。『ドン・ジョヴァンニ』レポレロで欧州デビューを飾る。2012年には、PMFに合格し指揮者F.ルイーゾと、またOEKでの『セビリアの理髪師』バジリオで指揮者M.ミンコフスキーとの共演も果たす他、新国立劇場『タンホイザー』ラインマル、東京春祭『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ハンス・フォルツ等数々のオペラに出演。『第九』やヘンデル『メサイア』などのソリストも務める。『ディズニー・オン・クラシック』や『日越外交関係樹立50周年記念「アニー・姫」でハノイでの世界初演に出演するなど活躍の場を広げている。昭和音楽大学非常勤講師。二期会会員。

サマーミュージア特設サイト

- アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージア
 - パートナーショップ特典
- こちらからご覧ください。
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/> →



アンケート ご協力をお願いします。

- ほぼ日刊サマーミュージアに感想が載るかも?
<https://gws-net.com/summermuza2025/> →



浴衣 de SUMMER MUZA!

- 浴衣でご来場の方へ特製ステッカーを差し上げます。
開場・休憩・終演時に、ホール1階「主催者受付」へお立ち寄りください。

ミュージア川崎シンフォニーホール ホールスポンサー

法人

【特別賛助会員】
川崎幸病院
川崎信用金庫
キャノン株式会社
サントリーホールディングス株式会社
ジェクト株式会社
三井不動産グループ

【賛助会員】

税理士法人あおぞら会計
株式会社イープラス
ENEOS株式会社
有限会社エムシーエス・デザインズ
神奈川臨海鉄道株式会社
川崎アゼリア株式会社
公益社団法人川崎市医師会
川崎市信用保証協会

公益社団法人川崎市病院協会
一般社団法人川崎市薬剤師会
川崎鶴見臨港バス株式会社
川崎日航ホテル
かわさきファーズ株式会社
川崎臨港倉庫埠頭株式会社
ケイジーケイ株式会社
公益財団法人JFE21世紀財団
株式会社シグマコミュニケーションズ

セレサ川崎農業協同組合
大本山川崎大師平間寺
高橋昌也税理士・FP事務所
株式会社ディ・シー
東亜石油株式会社
株式会社東芝
日本冶金工業株式会社 川崎製造所
ぴあ株式会社
ホテルメトロポリタン 川崎

ヤマハサウンドシステム株式会社
株式会社ワイイーシーソリューションズ
*
大宮町内会
他3法人

【わくわくミュージア法人サポーター】
稲毛神社
おつけもの慶

個人

阿部孝夫	遠藤智和	小笠原 将	金山直樹	国府保周	佐藤義寛	高井延幸	西 洋子	藤嶋とみ子	山下啓史	N.A
新井智彦	大越麻美子	岡田 元	喜多純一	後藤 実	新保和浩	高橋美子	西山英昭	堀江智巳	山田昌克	T.Y
市橋信一郎	大須賀徳也	岡野 功	木伏源太	小林知子	杉山弘子	竹内啓介	長谷川喜代江	前田 泉	D.Y	
井上敏昭	大塚具幸	小倉ヒロ・ミハエル	久住映子	佐伯 昇	鈴木甚郎	都築 豊	林 直人	松嶋邦生	K.O	他匿名16名
宇佐美清一	岡垣克則	小野洋彰	小菅みつほ	佐藤晴茂	鈴木 徹	中村紀美子	廣瀬治昇	山内利夫	M.C	敬称略五十音順

ミュージア川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。